

◇取材随記◇

R4. 1. 28

WITHコロナ時代の新しい平和交流スタイル。

28日、福岡と長崎の高校生が、オンラインを通じて平和交流を行いました。

「平和教育を受けてきた長崎」と「平和学習の機会が少ない福岡」の高校生が、アナウンサーの平和オンラインツアーに参加し、お互いに今できることを考えました。

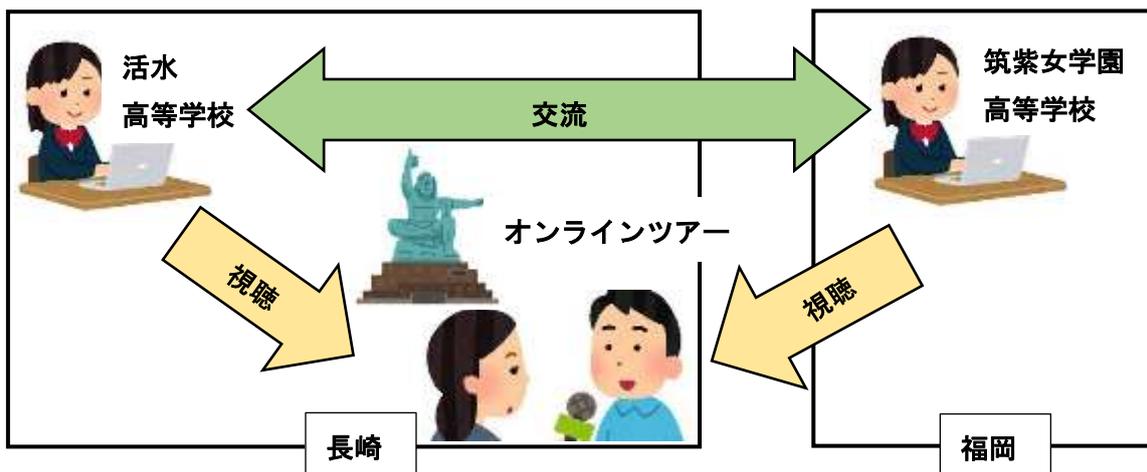
この活動は、アナウンサーとして活躍する田中さんと高月さんがサポートしました。



オンラインツアーの様子

高月アナウンサーとガイドの船井氏が、爆心地と山王神社を巡る様子を約1時間中継しました。

活水高校平和学習部（長崎）と筑紫女学園高校放送部（福岡）の生徒が学校や自宅から視聴し、質問を交えながら積極的に参加していました。



交流を通じて

今回のツアーで得た新しい知識もあった。これからも平和学習を続けていきたい。（活水高校生）

長崎と福岡の平和に対する意識の差を感じた。この差をなくすことが平和につながると思うので、今日学んだことを全校生徒に向けて発表したい。（筑紫女学園高校生）

田中さんのコメント

前半は遠慮気味だった生徒さんもだんだんオンラインのやり取りにも慣れ、しっかりとバトンを受け取ってくれた様です。

校内発表の打ち合わせでは様々なアイデアが出ており楽しみです。

高月さんのコメント

長崎と福岡、それぞれの感想を共有することで、これまで気づけなかった発見があったようです。より伝わるために、何をどのように伝えていくのか、さらに学びを深めてほしいと思います。